

はじめに

このたびは、レコーディングユニット LX シリーズをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
LX シリーズの優れた性能を充分に発揮させ、正しく安全にご使用いただくため、はじめにこのインストール
マニュアル及びCD版取扱説明書をお読みいただき、内容を正しくご理解した上で、インストールしてお使い
下さるようお願いいたします。

LX Navi のインストール

次の手順で付属ソフト LX Navi を最初にインストールして下さい。インストール作業は、インストールする
PC の管理者権限を持っている方が行って下さい。旧バージョンの LX Navi がインストールされている PC
環境の場合、旧バージョンの LX Navi をアンインストールしてから実行して下さい。

1. 付属 CD-ROM のルートディレクトリ上の「Setup.exe」を実行します。

2. 画面に表示されるメッセージにしたがってセ
ットアップを進めます。[Next]ボタンをクリッ
クします。

3. セットアップのオプション選択画面が表示さ
れます。インストールを行う項目にチェックを
入れて[Next]ボタンをクリックします。

**1394 モデルの LX の場合は、必ず
LX-Series 1394 Driver Installer の項目に
チェックを入れて下さい。**

4. インストール先を指定する画面が表示されます。
インストール先を指定する場合は[Browse...]
ボタンをクリックしてインストール先を指定して
下さい。特に変更する必要がない場合は、そ
のまま[Next]ボタンをクリックします。

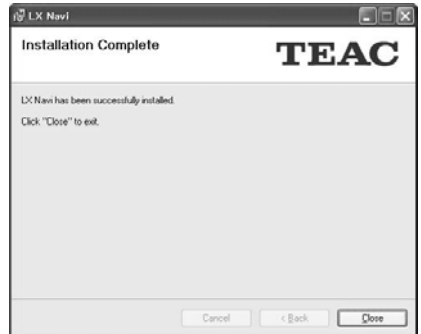
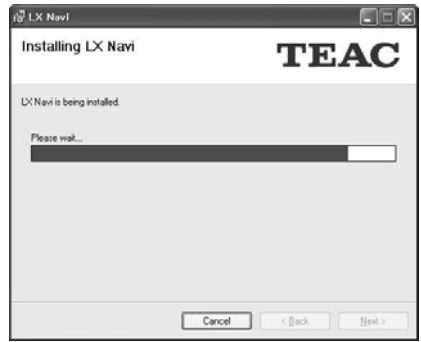
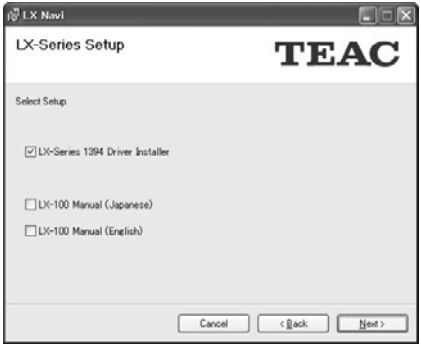
5. インストールを開始する確認画面が表示されま
す。そのまま[Next]ボタンをクリックします。

6. インストールが開始されます。インストールの途
中の画面でしばらく時間がかかる場合があり
ますが、そのまま次の画面が表示されるまで
お待ち下さい。

**Windows Vista、Windows 7 の場合でユー
ザーアカウント制御が有効な場合、インスト
ールの途中でユーザーアカウント制御のダイ
アログが表示されますのでインストールを続行
する処理をして下さい。**

7. 正常にインストールが完了すると右記の画面が
表示されます。[Close]ボタンをクリックして終
了します。

**PC を再起動するメッセージが表示されている
場合はインストール終了後、PC を再起動し
て下さい。**



IEEE 1394 モデルのインストール

LX シリーズ (IEEE 1394 モデル)のインストールの概要を下記に示します。IEEE 1394 に必要なドライバ
のインストールは後述するインストール手順に従って下さい。

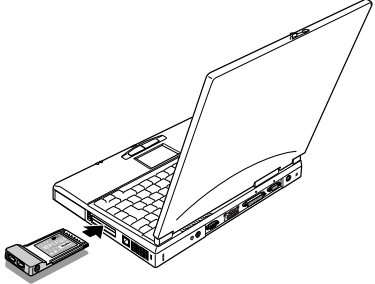
1. インタフェースカードを装着する
2. LX シリーズ 1394 Driver をプリインストールする
3. PC と LX シリーズを接続する
4. 修正プログラムを実行する (Windows XP Service Pack 2 の場合のみ)
5. ドライバソフトウェアを確認する

インタフェースカードを装着する

ノートPCに取り付ける

IEEE 1394 インタフェースカード CBFW3 を CardBus 対応の PC カードスロットに挿入します。
PC カードスロットの位置や PC カード挿入方法については、PC の説明書をご覧ください。

- 他の PC カードと同時に装着できない場合があります。
- 上側スロットに装着できない場合があります。
- 無理に挿入した場合、CBFW3 や PC 本体が破損する恐れがありますので、十分に注意して挿入し
て下さい。



デスクトップPCに取り付ける

PCI タイプインタフェースカード PCIFW3 を PC の PCI スロットに装着します。
PCI スロットへの位置や装着方法については、PC の説明書をご覧ください。

- デスクトップ PC に PCI タイプインタフェースカード PCIFW3 を装着する場合は、PC の電源を OFF
にしてから行って下さい。
- PCIFW3 を PC の Low Profile PCI スロットに装着する場合には、標準ブラケットを添付の Low
Profile 用ブラケットに付け替えて下さい。
- 無理に挿入した場合、PCIFW3 や PC 本体が破損する恐れがありますので、十分に注意して装着し
て下さい。

CBFW3 を CardBus 対応の PC カードスロットに挿入、もしくは PCIFW3 を装着して PC を起動すると、
Windows 標準のドライバが自動的にインストールされます。デバイスマネージャの画面より、ドライバソ
フトウェアが正常にインストールされたことを確認できます。

LXシリーズ 1394 Driverをプリインストールする

1394 モデルの場合、LX を制御するための、1394 Driver が必要になりますので、1394 Driver を
Windows にプリインストールします。この操作を行うことにより、1394 Driver を Windows に登録し、LX
シリーズを接続した時に、付属 CD-ROM がなくてもドライバが自動的にインストールされます。
(Windows XP の場合のみ、"新しいハードウェアの検索ウィザード"を実行する必要があります)この時点
ではまだ、PC と LX シリーズに 1394 ケーブルを接続しないで下さい。

1. Windows のスタートメニューより LX-Series
1394 Driver Installer を起動すると右図の画
面が表示されますので [次へ]のボタンをクリ
ックします。

**"すべてのプログラム→TEAC→LX Navi
→ Tool → LX-Series 1394 Driver
Installer"で起動します。**

**Windows Vista、Windows 7 の場合でユ
ーザーアカウント制御が有効な場合、最初
にユーザーアカウント制御のダイアログが表
示されますのでインストールを続行する処理
をして下さい。**



2. 1394 Driver を Windows に プリインストール
する処理が開始され右図のような画面が表
示されます。自動的に次の項目の画面になり
ます。

**Windows Vista、Windows 7 の場合、
Windows セキュリティのダイアログが表示
されますので "このドライバーソフトウェアを
インストールします" を選択し、インストール
を続行して下さい。**



3. LX シリーズ 1394Driver のプリインストール
が完了すると右図のような画面が表示されま
す。[完了]ボタンをクリックして終了します。



TEAC

PC とLXシリーズを接続する

LXシリーズの電源をONにして、PCとLXシリーズに1394ケーブルを接続して下さい。前項目でプリインストールした、1394 Driverがインストールされます。**Windows Vista、Windows 7の場合は、自動的にデバイスドライバがインストールされすぐに使用可能状態になりますのでインストール作業はこれで終了です。**"ドライバソフトウェアを確認する"の項目に移行して下さい。
Windows XPの場合は、"新しいハードウェアの検索ウィザードの開始"の画面が立ち上がりますので以下の手順で操作して下さい。

(Windows XP の場合のみ)

1. LXシリーズを初めてPCに接続すると下の画面が表示されます。"ソフトウェアを自動的にインストールする"の項目にチェックを入れ[次へ]をクリックします。
2. ドライバの検索画面が表示されます。自動的に次の項目の画面になります。
3. インストールの実行画面が表示されます。自動的に次の項目の画面になります。
4. 1394 デバイスドライバのインストールが完了すると右図のような画面が表示されます。[完了]ボタンをクリックして終了します。



修正プログラムを実行する (Windows XP Service Pack 2 の場合のみ)

Windows XP Service Pack 2 をご利用の場合は、次に Microsoft 社より公開されている 1394 記憶装置の修正プログラムを導入する必要があります。この修正プログラムにより、1394 デバイス (S400 の転送速度を使用する機器) が、想定されている性能で動作しない問題点が修正されます。下記の手順で更新を行います。Windows XP Service Pack 2 をご利用の場合は、必ず実行してください。

1. Microsoft 社の Microsoft Update のページを起動して下さい。右記の画面が現れます。

サイトの検索で"KB885222"と入力し検索を実行し、Microsoft 社の Windows XP Service Pack 2 用の更新プログラム (KB885222)のページを見つけて開いてください。(画面は Microsoft 社の 2009 年 7 月時点のものです。)
2. Microsoft 社の Windows XP Service Pack 2 用の更新プログラム (KB885222)の実行

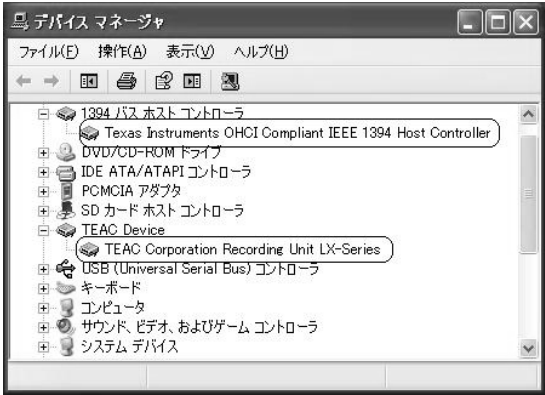


右記 Microsoft 社の Windows XP 用の更新プログラム (KB885222)の内容に従って更新プログラムのインストールを実行してください。(画面は Microsoft 社の 2009 年 7 月時点のものです。)この更新プログラム (KB885222)は、Microsoft 社の Update の自動更新機能では、インストールされませんので手でインストールする必要があります。

Windows XP Service Pack 2 をご利用の場合、この更新プログラムをインストールしないと LX Navi を起動した時に警告が表示されます。Windows XP Service Pack 2 以外の場合は更新プログラムのインストールの必要はありません。

ドライバソフトウェアを確認する

1. デバイスマネージャの画面を表示させます。



2. [1394 バスホストコントローラ]の項目をダブルクリックし、「Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」が正常に表示されていれば、1394 インタフェースのドライバソフトウェアは正常にインストールされています。

3. [TEAC Device]の項目をダブルクリックし、「TEAC Corporation Recording Unit LX-Series」が正常に表示されていれば、LX シリーズ 1394 Driver のドライバソフトウェアは正常にインストールされています。

LX シリーズ 1394 Driver のドライバソフトウェアが正常にインストール出来ない場合は、デバイスマネージャの "ドライバの更新" 機能で LX シリーズのドライバが保存されているフォルダを直接指定する方法によって実行してください。付属 CD-ROM の場合、ルートディレクトリ直下の "Driver" フォルダにドライバが保存されています。

LAN モデルのインストール

LX シリーズ (LAN モデル)のインストールの概要を下記に示します。

1. PC および LX シリーズの IP アドレスの設定を行う。

■ PC のオンボードの 100BASE-TX LAN インタフェースを使用して下さい。

PCおよびLXシリーズのIPアドレスの設定を行う

LXシリーズとPCを接続するためにはPCと同一のサブネットマスクを設定し、PCと同一グループのIPアドレスを設定する必要があります。必要に応じてLXシリーズ側またはPC側のIPアドレスなどの設定を行って下さい。設定はIPv4で設定してください。LXシリーズをネットワーク接続して使用する場合は、下記の情報を元にネットワーク管理者様にご相談の上、設定を行って下さい。設定にあたっては、Windows ネットワークシステムの基本的な知識が必要です。

■ LXシリーズは工場出荷時には以下のように設定されています。必要に応じてIPアドレスなどの設定を行って下さい。LXシリーズのIPアドレスの設定方法は、CD 版取扱説明書を参照して下さい。

IP アドレス	192.168.0.10
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	0.0.0.0
DHCP クライアント	DISABLE

■ お使いの PC にファイアウォールやウイルスチェック等のセキュリティソフトウェアがインストールされている場合、接続できない場合があります。その時には、ソフトウェア側のセキュリティレベルを確認して下さい。LX Navi(LAN モデル)で使用するポートは下記のとおりです。

コントロールポート	49408 (TCP)
データ転送ポート	49664 (TCP)
UDP ポート	49920 (UDP)

■ LXシリーズ (LAN モデル)の場合、IPアドレスが正常に設定した場合でも、デバイスマネージャの画面にデバイス表示はされません。

注意

- ◎画面例は、Windows XP のものです。Windows Vista、Windows 7 の場合、異なる場合があります。
- ◎インストールする PC の環境により、上記内容と異なる状況が発生する場合があります。
- ◎設定方法の詳細やトラブルシューティングは、CD 版取扱説明書を参照下さい。

- Microsoft, Windows, Windows Vista, および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。